

既存放射光施設による活用事例創出の取組み 仙台市トライアルユース事例報告会

参加費
無料

仙台市では、2023年稼働予定の次世代放射光施設の積極的な活用につなげるため、SPring-8などの放射光施設を活用した多様な事例を創出し、その成果を使って普及啓発を行う「トライアルユース事業」に取り組んでいます。このたび、令和2年度に取り組んだ事例によるオンライン報告会を開催します。放射光施設を実際に活用してみて感じた可能性など、中小企業の立場で取り組んだ実感をお伺いするほか、共同研究で参加した大学や分析会社にも発表いただきます。ぜひ中小企業の方々に放射光施設の産業利用の可能性を知っていただきたいと思っております。



(一財)光科学イノベーションセンター提供

開催日時 令和3年10月18日(月)及び19日(火) 両日とも13:00～15:00(予定)

1日目

10/18(月)
食品系

発表事業者

株式会社東北アグリサイエンスイノベーション
(仙台市)

X線CT法により、うどんやかまぼこの内部構造を可視化し、構造の均一性・不均一性から食感に関する新たな評価方法を検討した。

仙台農業協同組合
(仙台市)

X線小角散乱法(SAXS)により、枝豆のおいしさの定量評価を確立すべく、枝豆内部の構造体の解析を試みた。

支援者 東北大学大学院農学研究科

共同研究のしくみ、トライアルユースでの支援内容等について

2日目

10/19(火)
工業系

発表事業者

株式会社ジャパン・アドバンスト・ケミカルズ
(神奈川県厚木市)

HAXPES法により、プラチナ等の貴金属上に炭化ケイ素や窒化ホウ素等を成膜した際の界面状態を評価・検討した。

株式会社亀山鉄工所
(仙台市)

X線小角散乱法(SAXS)により、自社開発ボールミル装置にて製造されるナノシート物質の評価方法を検討した。

支援者 株式会社日産アーク
株式会社日東分析センター

分析会社の関わり方、トライアルユースでの支援内容等について

開催方法

Web会議システム Zoom による
オンライン開催
(当日参加できない場合も、申込みいただいた方には収録した動画を一定期間公開します)

申し込み方法

下記 URL よりお申し込みください。
後日、お申込みいただいた方へウェビナー接続情報を電子メールにてお知らせいたします。

<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1632208410708>

申し込み締切

令和3年10月14日(木)

こんな方におすすめです

- ・ 難しそうな施設でどんなことに利用できるか分からない...
- ・ 大企業や大学だけが使う施設で、中小企業は関係ないのでは??

主催 仙台市 お問い合わせ先

仙台市 経済局 産業振興課 担当: 齋藤
TEL: 022-214-8768 E-mail: kei008030@city.sendai.jp

